

# 町会報

# えひめ

2010

1

Vol.10

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会  
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2  
TEL 089-941-7598(代表)  
FAX 089-945-1318



鬼北町「第20回子泣かし天狗祭り」(1月10日)



幻想的な会場に太鼓の音が響く中、2人の天狗が登場。泣き叫ぶ子どもを天狗が一人ひとり抱きかかえ、「元気に育て」「かわいく育て」と叫ぶと同時に、保護者が力強く太鼓を打ち鳴らし、天狗と共に子どもの健やかな成長を祈願。

## Contents

民主党県連地域政策会議 .....	2
民主党県連への各町要望項目 .....	2~7
全国町村会定期総会 .....	7
全国町村監査委員協議会定期総会 .....	7
議長会第2回定例会 .....	8
優良町表彰紹介(松前町) .....	9
一筆 .....	10
1月の行事 .....	10

# インフラの整備を！ 全20市町の首長と意見交換

## 1月5日 民主党地域政策会議

民主党県連の地域政策会議が1月5日10時30分から松山市の「ビュアフル松山」で開催され、県内の全市町長が出席した。

民主党県連側は県選出国会議員5人と県議らが出席。社民党県連と連合愛媛の関係者も招待の形で参加した。

意見交換は、町村会と市長会と別に午前と午後に分けて開かれた。

会議は横山県連幹事長の司会に始まり、主催者を代表して加藤代表から



手前：民主党県連関係者 向い：町関係者

挨拶があり、続いて町村会を代表して白石会長から挨拶と併せて、各町で共通する要望事項について要請した。ついで各町長から民主党への要望項目を順次述べ、それらに対する意見交換を行った。最後に白石副代表が全体のまとめを行い、高橋副代表の閉会挨拶で会議を閉じた。

県内各町の要望事項は次のとおり。

### 民主党愛媛県連「地域政策会議(町村会)」 会議次第

1. 日時 平成22年1月5日(火) 10時30分～12時00分
2. 場所 ビュアフル松山 6F 鳳凰の間
3. 出席者 愛媛県町村会(上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町)  
民主党愛媛県連(地域政策会議構成員)
4. 会議次第(10:30～12:00)  
司会 横山幹事長  
開会挨拶 友近特別幹事  
主催者代表挨拶 加藤代表  
町村会代表挨拶 白石松前町長  
各町報告ならびに要請 各町長  
意見交換  
まとめ 白石副代表  
閉会挨拶 高橋副代表  
5. 県連からの提案(15:40～16:00)  
司会 横山幹事長  
提案 加藤代表  
質疑応答  
終了

### 県内各町の要望事項

#### 上島町



上島町長  
上村 俊之

- ①上島架橋の促進について
- ②離島航路の充実・指定について
- ③高等教育の維持について
- ④漁港施設の補助採択要件拡充について

#### ①上島架橋の促進について

昭和44年以来、弓削(生名)岩城を結ぶ上島架橋を島民の悲願として要望し続け、幸いにも平成8年には弓削島佐島間が開通、平成22年12月には佐島生名島間が完成予定であり、疲弊しつつあった地域に活力が漲りつつあります。

弱い立場の離島住民が、明るく力強く日々の生活を営むためには、少数の人々の視点を尊重し、実情にあった行政サービスを提供することが最も重要であり、上島町には、その施策として架橋が不可欠です。

つきましては、上島町の歴史的背景からも本橋の持つ重要性和必然性を御察察いただき、島民の悲願である架橋実現に特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

【国土交通省】

#### ②離島航路の充実・指定について

本航路は、本土と離島、離島と離島を結ぶ唯一の交通基盤です。上島町唯一の離島補助航路である魚島航路は、経営基盤が脆弱であるため、懸命な経営努力にもかかわらず、利用者が生活航路として使用することが主であるため、収入増も見込めず、航路運営が非常に苦しくなっている現状であります。

また、四国今治から上島町經由因島間の航路は、上島町民が四国へ渡る唯一の海路であり、島民の重要な足として生活に密着した不可欠な航路となっております。しかしながら、陸路しまなみ海道があることから、離島補助航路の指定が受けられず、魚島航路と同様に航路存続が危うい次第です。

本来、離島航路は、国、県、市町が一体となって支援することが離島振興法により定められております。離島島民の生活を守り離島の発展を促進するためにも、島民の「生活対策」として、また、瀬戸内の観光資源を活かす「経済対策」として現行の国庫補助の充実、加えて新たな離島補助航路の指定並びに地域公共交通活性化交付金や地域活力創造交付金等による更なる整備につきまして、特段の御配慮をお願い申し上げます。

【国土交通省】

#### ③高等教育の維持について

上島町におきましては、創立61年の愛媛県立弓削高等学校並びに明治34年に発足以来108年の歴史を有する弓削商船高等専門学校の2校が



在ります。

両校は、上島町民にとって唯一無二の高等教育・研究機関として、知識・教養等を培い、また、町の基幹産業である造船業や海運業などを支える重要な役割を果たしており、町の発展に欠くことのできない大きな活力であり財産となっております。

つきましては、離島である上島町にとつて町の根幹を支えてきた高等教育は、今後も町の貴重な人材を育成し、世界に通じる上島町を形成する重要な施策であるため、高等教育環境の維持と発展に特段の御支援を賜りますようお願いいたします。

【文部科学省】

④漁港施設の補助採択要件拡充について

上島町は、有人島7島、無人島18島で構成されている離島の町であり、町内に9漁港を有し、漁業は古くから海面漁業や養殖漁業が盛んで、町の経済を支えている重要な産業となっております。

しかしながら、ほとんどの漁港は、漁港施設建設から相当な年数が経過していることもあり、随時補修等を重ねているものの、外郭施設や係留施設の老朽化が著しく、安全で円滑な漁業活動に支障を来しています。つきましては、漁港施設の継続的な保守管理は、地方の産業の振興、上島町の発展に資するものとして、補助採択の要件の拡充について特段の御配慮をお願い申し上げます。

【農林水産省】

久万高原町



久万高原町長 高野 宗城

- ①道の駅建設について
- ②地域医療体制の確保について
- ③林業振興について

①道の駅建設について

豊かな自然環境に恵まれた久万高原町は、四季折々の高原リゾートとしての機能を有し、環境を活かした観光施設も概ね整備されており、今般この町づくりの拠点施設として、「道の駅」の建設を計画いたしました。今後は誘致に力を注ぎ、年間を通して人が訪れる観光の町を目指していきたいと考えています。

【国土交通省】

②地域医療体制の確保について

久万高原町立病院は、県内最大の診療圏を抱え、過疎・高齢化が顕著な上浮穴郡唯一の病院として、医療サービスに加え、保健・福祉サービスを総合的に提供する地域包括医療を推進しています。

また、当病院は山間地のため病院群輪番制に属しておらず、救急告示病院として365日・24時間対応し

ており、年間約300件の救急搬送患者の対応に当たり、初期・二次救急医療に重要な役割を果たしています。

近年の医師不足は地方において顕著であり、当病院では、外科系医師3名のうち2名が、それぞれ今年度中に退職予定であり、今後の救急業務など、町民の安全や安心の確保が困難な状況であります。愛媛県や愛媛大学とは連携し、真摯に相談に乗っていただき、共に汗をかいて頂いておりますが、国におきましても、医師確保など地域医療体制の充実に ついては最重要事項と位置づけ、へき地においても安心して暮らせる制度の設計を早急に賜りますようお願い

いたします。

【厚生労働省】

③林業振興について

林業が主要産業である本町におきましては、公共施設の木造化や久万材を使用した個人住宅への支援を行うとともに、個人住宅建築の需要拡大に向け都市圏にもPR活動を展開するなど、懸命に木材の利用促進を図っているところで、

民主党ご当局におかれましても、地球に優しく、循環型社会の形成に資する、木材の利用促進に係る施策の推進につきましてよろしくお願いたします。

【林野庁】

は復旧されましたが、北黒田海岸は不法占有物件があることから、未改修のままとなっております。

そのため、本町は、同海岸の整備に障害となる不法占有物件の移転先を確保し、移転について所有者と協議を進めています。今後、移転について協議がまとまり次第、県において海岸整備を進めることとなります。

しかし、移転先の造成や道路・水路等のライフラインの整備、海岸工事の負担金には国県の財政支援はありません。本来海岸は国有地であり県が管理しているものです。そのため、所有者である国において適切な管理がされるよう格別な配慮をお願いします。

【国土交通省】

松前町



松前町長 白石 勝也

- ①北黒田海岸整備事業について
- ②国庫補助事業における学校施設や保育所施設の耐震化について
- ③住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金について

①北黒田海岸整備事業について

平成3年の台風19号による高潮と高波の影響で、伊予市新川海岸と本町北黒田海岸が越波し、後背地の住宅地や農地が浸水するなど甚大な被害を受けました。その後、新川海岸

②国庫補助事業における学校施設や保育所施設の耐震化について

本年6月の地震防災対策特別措置法改正により、学校耐震化事業に係る国庫補助率が引き上げられました。平成23年3月までの時限法となつています。しかし、耐震化には莫大な費用と期間を必要とすることから、この期間内に全ての対象施設の整備は困難です。そのため、市町村による学校施設の耐震化が図れるまで国庫補助率の引き上げを継続するよう、要望します。

また、公立保育所の施設整備費については、かつては補助金制度があ

砥部町



砥部町長 中村 剛志

①国道379号(岩谷バイパス)の改良促進について

- ②松山南部2期地区農免農道の早期完成について
- ③学校施設の耐震化の推進について
- ④女性特有のがん対策について

①国道379号(岩谷バイパス)の改良促進について

本路線の改良工事は、砥部町にとりまして最重要課題の一つであり、町民も岩谷工区の完成・開通を心待ちにしております。現在、万年トン

りましたが、現在では、運営費の一般財源化に伴い、全額地方負担となっております。保育所の耐震対策のため早急に改築する必要があることから、施設整備への学校施設同様財政支援を要望します。

【文部科学・厚生労働省】

③住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金について

国においては、平成21年1月から住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助制度を復活したことから、本町では、同額の町単独補助事業を今年度から実施しています。

ネルや銚子橋建設工事に着手していただき、急ピッチで工事が進んでおり、残り1.7kmとなっております。引き続き、早期完成に向けて、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

【国土交通省】

②松山南部2期地区農免農道の早期完成について

本農免農道は、道後平野南部地域の砥部町及び松山市荏原・坂本を通り東温市上村を結ぶ幹線道路で、これにより農地利用の高度化と農業生産物の流通の合理化等、農業振興を図ることができま。1期区間については、平成8年度に新規採択され平成20年度完成となりました。引き続き、本2期地区の早期完成に向けて、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

【農林水産省】

しかし、今回の行政刷新会議の「事業仕分け」により、来年度当初予算の計上が見送られました。民主党政権では、CO2を25%削減するとしており、国民が一丸となって地球温暖化防止を進めていく必要があります。

本町としては、今後も引き続き当補助金を交付する予定ですが、より効果を上げるためには国の補助制度は不可欠です。国におかれましても来年度以降も引き続き交付するよう要望します。

【経済産業省】

③学校施設の耐震化の推進について  
学校施設の耐震化に際しましては、実際の工事単価と補助単価の差が大きく、自治体が多額の負担を強いられる状況です。補助単価の見直しについて、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

また、I s 値(構造耐震指標)0.3未満の施設は補助率が嵩上げされていますが、耐震補強が必要とされるI s 値0.7未満(文部科学省基準)の施設や、耐力度調査により構造上危険な状態にある建物の「改築事業」に対する補助率の嵩上げがありません。自治体の負担軽減となるよう、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

【財務省・文部科学省】

④女性特有のがん対策について

平成21年度の経済危機対策の一環として、女性特有のがん対策が講じ

内子町



内子町長 稲本 隆壽

- ①国道56号(城廻地区)の早期改良について
- ②国道56号(4車線化)の早期改良について

①国道56号(城廻地区)の早期改良について

内子町の中央部を縦断している国道56号は南予地域と県都・松山市を結ぶ最も重要な幹線道路です。しかし、当町の城廻地区から立川地区間には急カーブが連続して多く、また、昭和40年代に建設した当時の道路幅員となつているために歩道があつても幅が狭小な状態です。そのため雨によるスリップや線形不良による交通事故も多発しており、また、歩道が狭小なため特に雨の日などの通行においては危険な状態で、地域住民は一日でも早い改善を求めている状況です。

られることとなり、砥部町も受診促進とがんの早期発見に努めています。今回は検診対象者が限定されているため、受診促進と早期発見のためには複数年継続した事業の実施が必要と考えます。引き続き、平成22年度以降の財政支援について、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

【厚生労働省】

このような状況を踏まえ、国道56号五十崎・内子拡幅(城廻地区)工事、同箇所以外における線形不良箇所の改良及び歩道拡幅整備をルート変更も含めて早期改良をお願いします。

【国土交通省】

②国道56号(4車線化)の早期改良について

交通混雑の緩和と交通の安全確保及び四国縦貫自動車道内子五十崎ICへのアクセス強化を目的として整備を進められていた国道56号の4車線化は、内子町役場内子分庁横の郷ノ谷川で中断しています。

この中断している場所から国道379号の起点までの延長0.8kmは、当町の経済の中心地及び町並み保存地区への玄関口となり、町並み駐車場へ向かって大型バス等の通行が多く混雑いたします。また、国道379号の起点付近には、道の駅「内子フレッシュパークからり」があることから、休祭日等においては、国道56号から大渋滞が発生しているため「からり」のイメージダウン及び四国遍路道への悪影響を及ぼすなどにより、その対策として4車線化への早期改良をお願いいたします。

【国土交通省】

①②の要望内容の概要

以上のことにより、当町の経済の中心地であり、町並み保存及び「からり」を含めたまちづくりが評価されてフランス・ミシュラン社発行の観光版「ガイド・ベール(日本編)」において、「訪れる価値のある場所」として一つ星をいただきました。このようなことで、今後、外国人も含めた多くの観光客が車等を利用して当町を訪れることが予想されますので、城廻地区及び4車線化も含めた道路改良は必要不可欠です。

城廻地区の安全性、快適性を確保するために、城廻地区事業推進及び路線変更も含めた線形改良(歩道拡幅含む)を図っていただきたい。内子五十崎IC関連で整備した4車線化の延長(国道379号まで)を図っていただきたい。

【国土交通省】

伊方町



伊方町長 山下 和彦

- ①電源地域立地対策交付金の用途の拡大について
- ②農業者戸別所得補償制度について
- ③過疎地域対策の継続について
- ④郵政事業の見直しについて

①電源地域立地対策交付金の用途の拡大について

行政刷新会議の「事業仕分け」において、当交付金については、「地方自治体の自由な判断で使っていただく」という形にする。という結論で取りまとめされ、今日まで全国の立地町が要望してきた方向へ大きな前進があつたものと感謝しております。つきましては、地域の実情に応じた柔軟に活用することが可能となり、交付金事務についても簡素化した制度としていただきますよう強く要望いたします。

【経済産業省】

②農業者戸別所得補償制度について

本町では、農業者の殆どが中山間地域の不利な地形条件において柑橘栽培を中心に農業を営んでおり、価格の低迷により後継者不足や耕作放棄地の問題など、課題が山積しております。

【農林水産省】

③過疎地域対策の継続について

平成21年度末で、現在の過疎地域自律促進特別措置法が失効しますが、過疎地域における必要な対策を引き続いて切れ目無く実施することが出来るよう、所要の支援措置を講じて頂くよう要望いたします。

【総務省】

④郵政事業の見直しについて

政府与党が進めている郵政事業の見直しにあたり、過疎地や中山間地域において郵便局が果たしてきた公共的な役割を検証していただくとともに、民営化に伴い郵政サービスが失われた地域において不便を強いられる高齢者等に対して利便性向

上のための必要な改善措置を講じて頂くよう要望いたします。

【総務省】

松野町



松野町長 阪本 寿明

- ①安心・安全・T・O・I・C・Z推進事業
- ②中山間地域総合整備事業
- ③広見川中小河川改修事業の推進
- ④国道381号の改良整備事業の推進
- ⑤鳥獣害防止総合支援事業の推進

①安心・安全・T・O・I・C・Z推進事業(北地域情報通信基盤整備事業)

松野町では、隣町鬼北町と連携し、平成20年度から3カ年の計画で情報通信基盤整備を進めています。平成22年度は、『安全・安心・T・O・I・C・Z推進事業』を活用した整備を計画しておりますが、当該年度整備予定地域が整備できなければ、町内での情報格差はもとより、全域整備を目指していたIP告知端末の各戸設置による防災対策が一部の地域で利用できないなど、様々な問題が生じます。事業の実施を切に要望いたします。

【総務省】

②中山間地域総合整備事業

過疎化高齢化の進展や地域経済の低迷などにより、基幹産業である農



林業が衰退し、耕作放棄地の増大やコミュニティ組織の弱体化など深刻な状況に直面しています。このような状況の中、県営の中山間地域総合整備事業は、地域農業の再生に大きな効果があるものと期待しております。

つきましては、本事業の導入に格別のご配慮を賜りますよう、お願いいたします。

【農林水産省】

③ 広見川中小河川改修事業の推進

本町を貫流する一級河川広見川は、鬼北地方の母なる川として住民に親しまれ、自然の豊かな川の幸にも恵まれ恩恵を受けています。しかしながら、台風等の増水時には、沿岸に多くの被害を及ぼし、地域住民に多大な危険と苦難を与えています。

つきましては、引き続き延野々工区及び五郎九工区の事業の推進と早期完成に格段のご高配を賜りますようお願いいたします。

【国土交通省】

④ 国道381号の改良整備事業の推進

国道381号は本町唯一の国道で、地域住民の生活に密接な関わりを持つ主要幹線道路であります。このため平成13年度から「松野東バイパス」工事が着工され、着実に整備が推進されているところですが、安全で円滑な交通の確保や、時間短縮による経済的効果や利便性向上など、住民の期待は大きいものがあります。また、同国道は、本町麻生谷口地区から高知県境にかけて幅員が

狭小で線形不良の区間があり、大型車や緊急車両の通行はもとより地域間交流促進の面からも走行性の向上と環境の改善が望まれており、残りの未改良区間について、引き続き推進をお願いいたします。

つきましては、改良整備事業の積極的な推進について、格段のご高配を賜りますようお願いいたします。

【国土交通省】

⑤ 鳥獣害防止総合支援事業の推進

本町では、イノシシ・ニホンジ

カ・ニホンザルによる農作物及び林業への被害が深刻な状態で、柚子・桃・梅などへの被害が拡大しております。特にニホンジカについては、生息頭数が激増し、地域農業の存続自体にも悪影響を及ぼしています。

つきましては、本事業を継続・拡充していただくとともに、複合的な鳥獣害対策を推進していただきますよう、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

【農林水産省】

実施を切に要望いたします。

【総務省】

② 公共交通機関の確保

鬼北町は、高齢化が顕著で、病院や買い物などに行くには、鉄道やバスなどの公共交通機関を交通手段として利用している高齢者が多く、また、高校生の大半は、鉄道やバスを利用して通学しています。

このような状況の中、高速道路が無料化されずと、鉄道会社やバス会社の運行路線の廃止や減便が行われる可能性は否定できず、地域住民は、通院通学することもできなくなりました。

つきましては、地域住民が日々生活していくためのかけがえのない交通手段が失われることのないよう公共交通機関に対する助成制度等を整備していただきますようお願いいたします。

【国土交通省】

③ 公立病院の医師の確保

鬼北町では、国策による地上デジタル放送への対応のため、平成20年度から3か年の計画で情報通信基盤整備を実施しています。

しかしながら、当事業は事業仕分けで予算計上見送りとされており、この事業で整備できなければ、整備を完了した地域との地域情報化の町内格差が生じてしまいます。事業の

【国土交通省】

③ 公立病院の医師の確保

平成18年度に県から北宇和病院の

【農林水産省】

移譲を受け、町立病院の運営を行っています。平成16年度から実施されている新臨床研修制度の影響などから、医師の確保が困難になっています。

今後、新臨床研修制度による歪みを解消させる地方の医師確保システムの構築を推進していただきますようお願いいたします。

【厚生労働省】

④ 過疎地への企業立地の推進

鬼北町では少子高齢化や人口減少が急速に進んでおり、主要産業である農業の担い手不足や耕作放棄地の増加が懸念されるなど様々な課題を抱えています。特に、高齢化の進行と人口の減少を抑制し、若者の都市部への流出を防ぐためには、雇用の場を確保することが急務となっております。過疎地への企業立地に対する法人税率の引き下げなどの優遇措置を講ずるとともに、高速道路をはじめとした道路交通網の整備などの環境整備を引き続き推進していただきますようお願いいたします。

【総務省】

鬼北町



鬼北町長 甲岡 秀文

① 地域情報化の推進

- ② 公共交通機関の確保
- ③ 公立病院の医師の確保
- ④ 過疎地への企業立地の推進
- ⑤ 農山村の多面的機能の維持・向上

① 地域情報化の推進

鬼北町では、国策による地上デジタル放送への対応のため、平成20年度から3か年の計画で情報通信基盤整備を実施しています。

しかしながら、当事業は事業仕分けで予算計上見送りとされており、この事業で整備できなければ、整備を完了した地域との地域情報化の町内格差が生じてしまいます。事業の

実施を切に要望いたします。

② 公共交通機関の確保

鬼北町では、国策による地上デジタル放送への対応のため、平成20年度から3か年の計画で情報通信基盤整備を実施しています。

しかしながら、当事業は事業仕分けで予算計上見送りとされており、この事業で整備できなければ、整備を完了した地域との地域情報化の町内格差が生じてしまいます。事業の

【国土交通省】

⑤ 農山村の多面的機能の維持・向上

高齢化の進行や就業機会の不足による若年者の流出などにより、過疎化、農林業の衰退などが顕著になっています。つきましては、将来にわたって農地や森林を守り育て、多面的機能を維持・向上するための施策を推進していただきますようお願いいたします。

【農林水産省】

### 愛南町



愛南町長  
清水 雅文

①四国8の字ルートの早期整備について

②愛媛大学南予水産研究センターにおける地域科学技術振興・産官学連携事業等の継続について

①四国8の字ルート(四国西南地域)の早期整備について

南予地域南部は、鉄道も無く、唯一の幹線道路である国道56号線に依存している状況ですが、愛南町から近隣の空港まで3時間以上を要することから、企業の誘致、本町の誇る特産品である生鮮食品の販路の拡大、市場の選択等に大きな支障をきたしており、産業振興の阻害要因になっています。

また、高度医療を受けられる市立宇和島病院まで片道45km、およそ1時間が必要で、高齢化が進み医療需要が膨らむ中、住民は大きな不安を抱えています。加えて、高い確率で発生が予測される東南海地震において国道56号線が被災した場合には、長期にわたり四国西南地域が分断、孤立して被害が拡大することが懸念されています。

本町のような交通へき地において、高規格道路は、安全・安心な生活を担保する「命の道」であるという現状を認識していただき、四国8の字

ルートの早期整備について、御理解と御支援をお願いします。

【国土交通省】

②愛媛大学南予水産研究センターにおける地域科学技術振興・産官学連携事業等の継続について

本町は、平成20年4月に愛媛大学と共同で「愛媛大学南予水産研究センター」を設置しました。当センターは「生命・環境・社会」の三者を一体化した、愛媛大学オリジナルの「新しい水産学」を構築し、最先端の科学技術を地場産業に展開することにより、地域及び世界の水産業に対して積極的に貢献することを目指しています。

現在、ハタ・イシガキダイなど中低層で生息する高級魚を養殖する高度管理型養殖技術の研究開発や、未利用バイオマス飼料化技術の研究開発、温暖化対応真珠技術の開発など、地域が直面する水産課題を解決するための研究開発に積極的に取り組んでおり、魚価低迷などの影響で厳しい経営状況が続く地域の生産者は、センターの研究成果に大きな期待を寄せていると見られます。

しかしながら、昨年度の事業仕分けにより、地域科学技術振興・産官学連携事業及び地域卓抜研究者結集プログラムが「廃止」に分類されました。この事業が廃止されれば、現在までセンターが取り組んできた実践的な研究を続けることができなくなる可能性があります。南予地域全体の経済発展と水産による地域振興のためにも、事業の継続をお願いいたします。

【農林水産省】

### 全国町村会定期総会

#### 松前町が表彰される

全国町村会定期総会が、1月29日「全国町村会館」において開催され、本会から白石会長、中村砥部町長、阪本松野町長及び事務局長が出席した。

総会は、平山次長の司会に始まり、山本会長のあいさつのち、次の各来賓から挨拶があった。

渡辺総務副大臣

近藤衆議院総務委員長

野村全国町村議会議長会長

次いで、表彰では優良町村として松前町など48町村や中村砥部町長をはじめ5,000余の自治功労者の方々が栄に浴された。

次いで、受賞者代表謝辞の後、次のとおり議事が進められ、いずれも原案のとおり了承された。

#### 〈議事〉

- 1 議事録署名名人の指名
- 2 会務報告
- 3 平成20年度全国町村会一般会計歳入歳出決算報告
- 4 平成22年度全国町村会一般会計歳入歳出予算報告

協議終了後、講演に入り、「新政権における地方行政の課題」と題して、講師の増田寛也氏(前総務大臣)から講演があった。

### 全国監査委員協議会総会

#### 明年度事業・予算決まる

全国町村監査委員協議会の「第19回定期総会」が、1月21日、「全国町村議員会館・会議室」において開催され、関係県の会長、事務局長ら約70人が出席した。なお本会からは白石会長と事務局長が出席。

総会は、新見全国会長(鳥根県)のあいさつに始まり、左記のとおり進められた。

- 1 議長選出  
北口北海道会長を選出。
- 2 議事録署名名人の指名
- 3 議事  
日程第1 報告第1号 会務報告  
会長から1年間の会務の状況を報告があった。

日程第2 承認第1号「平成20年度全国町村監査委員協議会決算」  
本会白石会長が監査結果を報告し、異議なく承認された。

日程第3 議案第1号「平成22年度全国町村監査委員協議会事業計画及び予算」を議決  
日程第4 議案第2号「決議」を原案のとおり決定。  
日程第5 議案第3号「提言」を原案のとおり決定。

日程第6 協議第1号「実行運動方法」を決定。

なお、前日の20日に幹事会が開催され、事務局長が出席。総会提案案件の事前協議を行った。

### 第2回定例会を開催

県町村議会議長会

平成21年度第2回定例会は、1月12日午後3時30分から「愛媛県自治会館会議室」において開催。西村会長、吉村副会長、菊池監事、土居上島町議長、瀧野久万高原町議長、伊賀上松前町議長、山崎内子町議長、稲田松野町議長及び山崎鬼北町議長の全議長が出席した。

- 1 開 会
- 2 挨拶 西村会長から挨拶
- 3 会議録署名人の指名  
次のとおり指名した。  
瀧野久万高原町議長  
山崎内子町議長
- 4 報 告

- (1) 行事関係について
- (2) 議員年金制度に関する要望について
- (3) 請願・意見書等に関する定例報告について



第2回定例会

5 協 議  
り説明があり、一同了承。

- (1) 平成20年度一般会計及び特別会計決算について  
事務局から、別紙「決算書」・「意見書」(省略)により内容説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。
- (2) 平成22年度会務運営方針及び事業計画について  
事務局から、別紙(次項)により説明があり、一同了承し、原案のとおり定期総会に提出することとなった。
- (3) 平成22年度一般会計予算(案)について  
事務局から、別紙(省略)①会費の賦方法②予算案③会費の納入時期について説明があり、いずれも了承し、定期総会に提出することとなった。
- (4) 平成22年度共済事業特別会計予算(案)について  
事務局から、別紙(次項)により説明があり、一同了承し、原案のとおり定期総会に提出することとなった。
- (5) 全国町村議会議長会表彰について  
事務局から別紙(省略)により説明があり、一同了承した。
- (6) 第61回定期総会の開催要領について  
事務局から、別紙(省略)①総会次第(案)②決議(案)について説明があり、一同了承し、定期総会に提出することとなった。
- (7) その他  
① 民主党に対する要望活動について  
② アカデミー研修について  
③ 議長研修について  
④ 次回定例会について  
⑤ 順次、事務局から説明があり、一同了承した。

### 地方議会議員年金制度の長期安定化を！

長期安定化を！

地方議会議員の年金制度が危機的な状況にあることから、全国町村議長会は12月17日開催の都道府県会長会で、別掲の「地方議会議員年金制度の長期安定化に関する要望」を決定し、政府や各政党に要望した。

また、本会においてもこれが実現を訴えるため、西村会長が地元選出国會議員や関係者を訪ね強く要請運動を展開したところである。

### 地方議会議員年金制度の長期安定化に関する要望

昭和36年の制度発足以来、地方議会議員の退職後の生活安定に大きな役割を果たしてきた地方議会議員年金制度は、「平成の大合併」がもたらした会員数の激減と年金受給者の大幅増により、財政が急激に悪化し、平成23年には積立金の枯渇が予想される危機的な状況に陥っている。

平成18年には、地方公務員等共済組合法の改正において掛け金率の引上げ、給付水準の引下げが行われるとともに、市町村合併特例法の規定に基づく激減緩和措置が講じられたが、年金財政の安定化を図るには至っていない。

今後、地方分権の進展によって地方議会の役割・重要度が高まる中、地方議会議員が安心して議会活動に専念するためには、退職後の生活の安定のための年金制度が不可欠である。

よって、国は、国策として推進された市町村合併に身をもって協力した市町村議会議員の強い思いを厳粛に受け止め、将来にわたり安定的な給付が可能となるよう、下記事項について特段の措置を早急に講じるよう強く要望する。

記

- 1 市町村合併が年金財政に及ぼした影響については、市町村合併特例法第65条第3項に基づき、激減緩和負担金として全額財政措置すること。
- 2 激減緩和負担金を除く公費負担を議員負担と同水準まで引上げること。
- 3 現職議員については、度重なるこれまでの改正を踏まえ、給付や掛金に関し過度の負担を強いることのないよう制度設計を行うこと。

平成21年12月17日

全国町村議会議長会都道府県会長会



西村会長から横山幹事長へ要請



伊予郡松前町（町長・白石勝也氏）は1月29日の全国町村会定期総会で、同会長から優良町として表彰された。

# 水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさきき Ⅱ 松前町



松前町長  
白石勝也氏

## ◇町の概要

松前町は、道後平野の西南部に位置し、北は松山市、南は伊予市、西は瀬戸内海に面しています。町内には山はなく平坦で松山市との境には石鎚山系に端を発した一級河川重信川が流れています。

総面積は、東西7km、南北4kmの約20km<sup>2</sup>で、松山空港から車で10分余りです。

また、町内をJRと私鉄又、路線バス、コミュニティバスが走り、交通の利便性と住環境に恵まれ、人口は3万1千人を超え増加傾向で推移しています。

本町を含むこの瀬戸内海沿岸は、雨が少ない地域で、夏場には水不足となることもあります。本町の場合は、地下水に恵まれており、平成



ひよこたん池公園（親水公園）

6年に数十年に一度といわれる渇水により、周辺の市町は断水に見舞われましたが、本町に影響はありませんでした。

農業では、米、麦のほか都市近郊型農業が盛んで、レタス、ねぎ、いちごなどが特産となっています。

地場産業としては、海産珍味加工業が盛んで、ちりめん、いりこなどの小魚珍味は、国内の約80%のシェアを誇っています。

臨海部には、東レ(株)愛媛工場が戦前から立地し、近年では炭素繊維(トレカ)工場が増設され、愛媛工場でのトレカの生産量は世界一を誇っています。

おり、ボーイング社などの航空機に採用されています。

商業については、平成20年4月に中四国最大級のショッピングセンター「エミフルMASAKI」がオープンし、開店1年で1,100万人もの来客がありました。平成22年2月には、愛媛県内最大規模の映画館もオープンし、連日大勢のお客で賑わっています。

また、敷地内には、平成21年10月に地元生産者を中心となって「まさき村」がオープンし、店頭には獲れたての野菜や魚など、地場産品の直販を行っています。

イベントとして、毎年4月23日に義農祭を開催しています。享保17年(1732年)西日本は大飢饉になり、村民は食べ物が無くなって麦種まで食べていました。義農作兵衛は、「農は国の本である。種は農の本である。わずかの日を生き延びるために、自分が食べてしまっただうして来年の種ができるか。身を犠牲にして幾百人かの命を救うことができたら、私の本望である。」と、麦種一粒食することなく後世に残し、麦種を枕に餓死しました。

この遺徳をしのび、毎年「義農祭」が開催され、町内の農産品の即売や近隣市町も参加してのふるさと市、散餅などがあり、大勢の人で賑わっています。

また、松前町の夏を彩る「まさきき町夏祭り」は、松前公園をメイン会場にまさき音頭、こどもフェスタ、夜店のほか、塩屋海岸を会場にはんぎり競漕(直径1.5mの桶に乗って、道具を使わずに足と腰でバランスをとりながら速さを争う競技。)など、

多彩な催しで賑わっています。

平成22年度からは、第4次松前町総合計画(平成22年度～平成31年度)に基づき、新たなまちづくりに取り組みます。

将来像は、恵まれた立地条件や水と緑の美しい自然環境・景観をはじめとする本町の特性・資源を最大限に生かしながら、町民と行政が協働してすべての環境のさらなるレベルアップを進め、子どもから高齢者まで、町民一人ひとりが笑顔でいきいきと住み、働き、学び、楽しむことができる生活自立のまちをつくっていくという想いを込め、「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさきき」としています。

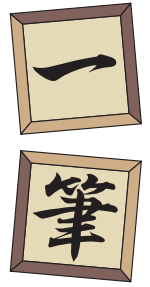
今までのまちづくりの成果を基盤に、計画で定めた将来像の実現に向け、町民と一緒に次の世代に誇りを持たせていく松前町を築きあげていきます。

人口は31,441人、世帯数は12,708世帯(住民基本台帳平成22年1月末現在)

町花…ひまわり、町木…松



まさき町夏祭り（はんぎり競漕）



### 品格と次世代と教育

先年、某本から巷間に広まった言葉「品格」が、この1月末に再登場した。品格とは「物のよしあしの程度。しながら。品位（品格と等位。人に自然にそなわっている人格的価値）。気品（どことなく感じられる上品さ。）（広辞苑より）」とある。この品格は、日本人独特な捉え方があるとは思わない。いかなるカントリーであろうと人間共同社会に「品格」は「あつて然るべき」ものであろう。

次世代には「品格」の解る普通人が育ってほしい。昨今、少子化対応の一つ「こども手当」についていろんな意見がある。ただ次世代に借金を増やし、残してはならない前提を崩してはならないはず、余力のない財政厳しい現下に環境整備充実強化でなく富裕層へ、また給食費滞納者（納付能力ある者で）への個人支給案など、首をかしげるのは素朴に筆子だけではないだろう。この制度、是非とも地方の生の声、広く意見を集約し大多数が理解できる結果として将来に繋がる展開を切望したい。「品格」の解るこども達が国の宝で

あることはいわずもがなである。

さて、財政事情が不安定ながら成熟社会にあつては、品格の衰退を憂うとともに格差感、不公平感の増幅は、避けなければならぬ。現代人は、今、次世代へ超高齢社会の橋渡しの時である。安定経済は老若関係なく少数でも可能であり引き継いでいかねばならない。ためには人づくりが常に大事であるということも云うまでもなく、財不足の時代は、忍みの中で金品に頼らない教育に取り組むことが不可欠。さらに未熟者を増やしてはならない理解のある教育実践が求められる。どの世界であろうと次世代に先人と指導者の影響は極めて大きい。例えば書道もお手本が悪ければ、無垢な大方の者は外道へ、向上・成長せず、「道」・礼節も判らず簡単な不要・悪字を現すことになろう、それを「個性のある文字」と称賛するならば、何とも…。成熟社会は、真の普通人が最良である。

財は人の後に生まれ、自然と追ってくる。まずは皆で、「品格」の理解できる普通人を増やすべきであろう。「品格」の言葉に絡む環境が、気になる年の初めとなった。

「人間を心理に導くには、力づくによつてではなく理性によつてでなければならぬ」  
（デイドロ フランス国の哲学者）

### 1月の会と催し

- ▽4日||2010年賀交歓会
- ▽5日||人権対策協議会平成22年年賀交歓会、民主党県連「地域政策会議」
- ▽10日||ふるさとCM大賞10授賞式
- ▽12日||介護保険審査会、愛媛県町村議会議長会第2回定例会
- ▽14日||内外情勢調査会松山支部懇談会
- ▽18日||愛媛県スポーツ振興事業団評議員会・理事会
- ▽19日||町村議会議員公務災害補償等組合連合会連絡会議、町村議会の制度・運営に関する検討委員会幹事会
- ▽20日||全国町村議会議長会連絡調整会議及び支部主任者会議、全国町村監査委員協議会幹事会・役員会
- ▽21日||全国町村監査委員協議会第19回定期総会
- ▽23日||愛媛県戦没者遺族大会
- ▽25日||愛媛県町村監査委員協議会会計監査
- ▽28日||全国自治協会評議員会、全国町村会常任理事会、全国自治協会理事會・災害共済委員会、全国町村職員生活協同組合総代会、政務調査会農林部会、全国市町村職員退職手当組合連合会定期総会、全国山村振興連盟支部事務局長会議、公平事務説明会
- ▽29日||全国町村会定期総会
- ▽31日||鬼北町消防出初式

### 編集後記

平成の御代も22年目を迎えました。まさに光陰矢のごとし。月日の流れを本当にはやいと感しながら新年を迎えました。皆さんはどのような新年を迎えられましたか？

その新年が明けて早々の5日、民主党県連と県内全首長との「地域政策会議」が開催されました。はじめの試みであり、その評価はこれから判断されることでしょう。本号では特に各町の要項事項を掲載してました。これから見てとれることは、やはり市町における最大で共通のテーマはインフラ整備だとあらためて実感しました。

先年の合併から5年余りが経過し、各町では地域の生き残りをかけて、色とりどりのふるさとづくりが進められています。われわれ町村会・議長会は、こうした各町の取り組みにお役にたてる機関でなくてはならないと思つています。どうか、なにかお気づきの事柄がありましたら、お声をかけてください。

◆ 本年もスタッフ一同、一生懸命がんばりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。